

2. 東播海岸直轄海岸保全施設整備事業の概要(事業費の主な変更要因)

②現場条件の変更等によるもの

②-2 経年変化等

【補足説明】

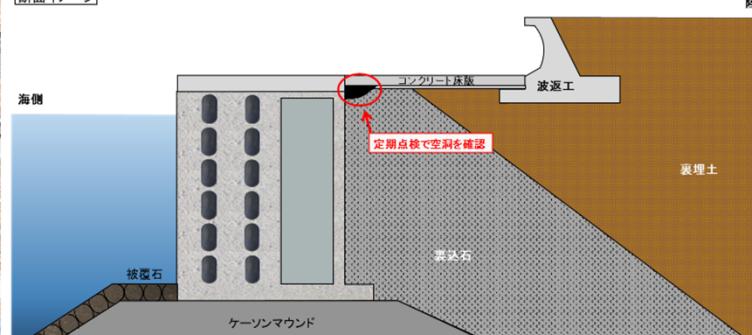
空洞対策には、学識者委員会の助言等を踏まえ、現時点で想定される空洞そのものの補修に加え構造面での改良(波圧低減対策など)を含む。

■空洞対策の追加等による変更【約23億円増】

- 前回再評価(R4)以降に実施した定期点検において、大蔵海岸及び舞子海岸のケーンソン護岸背面に空洞を発見したことなどにより、空洞対策の追加等が必要となった。



ケーンソン護岸
断面イメージ



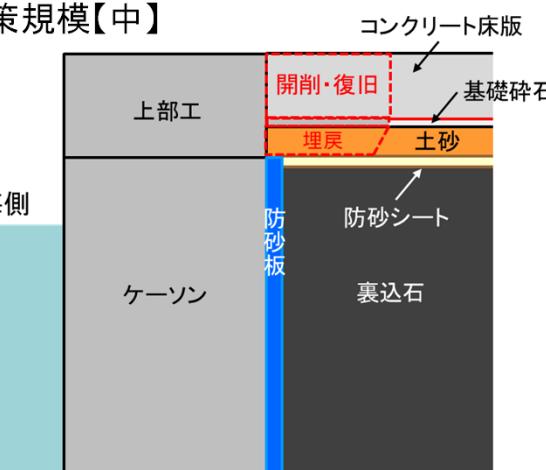
▲開削調査で確認されたコンクリート床版下の空洞
(写真は空洞最大箇所)



対策工のイメージ

□: 対策実施範囲

対策規模【中】



対策規模【大】

